



文字・イラスト 小学部3・5年、中学部1年、高等部3年
丹波市春日町棚原 3098-1 TEL: 0795-75-1737
メールアドレス: Hikami_shien@pref.hyogo.lg.jp
ホームページアドレス: <http://www.hyogo-c.ed.jp/hikami-sn/>

スクールバス避難訓練

昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため実施を見合わせたのですが、今年度はマスクに消毒、密を避けることを徹底しながら実施しました。登校時にバスが事故に巻き込まれたり、故障して緊急停止したりした場合を想定し、バスの緊急時に備えて対応できるよう、乗車児童生徒だけではなく職員も緊急時の動きを確認することを目的に行いました。7月6日（火）に山南・柏原バス、7月9日（金）は青垣・氷上バス、7月13日（火）には丹波篠山・柏原バス（リフト）と市島・黒井バスの4台、それぞれに登校時の学校到着の時に、中型バスは非常口から、小型バスやリフトバスは乗降口や後方のリフトから降りて安全確認を行いました。職員からは、「子どもたちはみんな、落ち着いてスムーズに行動できていた」とか「避難訓練という言葉自体を怖がる子どもも、実際の訓練は落ち着いて行動できていてよかった」との感想がありました。今後とも介助員や運転手との連携を密にして、安心して安全な運行に努めていきたいと思えます。



小学部 体験チャレンジ活動

7月6日（火）に、体験チャレンジ活動を行いました。今回は、地元の木工所の講師さんをお招きしました。講師さんのお話を聞いてから、木と触れ合い、木がたてる音や香り、手触り等の木の良さを感じるいくつかのコーナーを体験しました。

講師さんの木に関する最初のお話は、Google Meet を使って4教室を繋ぐ「リモートはじめの会」にして、それぞれの教室でお話を聞きました。お仕事の様子の写真をたくさん見せていただきました。見たことのないような機械に目が釘付けになっていた児童もいました。その後の木工コーナーでは、全員が「鍵かけ」か「貯金箱」のどちらかの作品を組み立てました。端材を工夫して貼り付けたり、色をつけたりして個性あふれる木工作品が完成しました。講師さんに用意していただいたたくさんの端材を目の前にすると、創作意欲が高まり、次々に自分の思いを木工で表現しました。時間がいくらあっても足りない様子で次々と作品をつくる姿が見られました。また、自立活動室の積み木コーナーや木の香り・手触りを感じるコーナーで、ヒノキの長いカンナくずに触ったり、空中に舞わせたりしていると、教室中にヒノキの香りが充満し、とてもさわやかな気持ちになりました。学校の積み木を並べたり、高く積み上げたり、時がたつのを忘れてそれぞれが思い思いにたっぷりと遊びました。



中学部 体験チャレンジ活動

7月13日(火)にユニットピア篠山へ行き、陶芸に挑戦しました。コップやお皿、お茶碗など、それぞれ作りたい物を自分で考え形にしました。粘土を丸めて平たくして、そこにひも状にした粘土をのせて器の形を作ったり、粘土のかたまりをこねて形を整えたりと、苦労しながらも完成させることができました。お昼からの活動は天気恵まれ、パターゴルフと園内散策に分かれて活動をしました。園内散策組は、広い敷地で走り回って遊んだり、綺麗な景色の中でたくさん写真を撮ったりして楽しみました。パターゴルフ組は、それぞれゴールに入るように力加減を調節しながら玉を打って、18ホールを回って楽しみました。校外での施設の利用体験を通して、ルールやマナーを学ぶことができました。



高等部 収穫祭

7月15日(木)、数日前から明け方まで雨天であった天候も、生徒たちの応援をしてくれているかのように晴れ間が訪れ、晴天の中とうもろこし・万願寺・ミニトマトなどの夏野菜を収穫しました。さらに、本校で収穫したじゃがいもや玉ねぎを使い夏野菜カレーをつくり、1学期の活動の締めくくりとしました。コロナ感染症による蔓延防止期間ということもあり、手洗いや消毒はもとよりソーシャルディスタンスの確保、アームカバー・ヘアキャップ・ビニール手袋・マスクなどを着用して調理しました。また、道具の共有なし、給食同様私語は慎み、味わって食べる！(複雑だ〜)いろいろと留意しながらではありましたが、生徒たちが楽しみにしていた行事を実施することができました。

10月の予定

1	金	現場実習
4	月	学部別全校集会
6	水	体験入学(小)
7	木	修学旅行(中：～8日)
13	水	体験入学(小)
14	木	学部集会(中)、修学旅行(小)
18	月	学発係別準備
20	水	修学旅行(高：～21日)
22	金	PTA 障害基礎年金学習会
29	金	学発予行準備

※予定は変更になる可能性があります。

